

第134回エイズ動向委員会

委員長コメント

《平成25年第2四半期》

【概要】

1. 今回の報告期間は平成25年4月1日～平成25年6月30日までの3か月
2. 新規HIV感染者報告数は294件（前回報告227件、前年同時期225件）で、過去2位
そのうち男性286件、女性8件で、男性は前回（216件）及び前年同時期（215件）より増加、女性は前回（11件）及び前年同時期（10件）より減少
3. 新規AIDS患者報告数は146件（前回報告107件、前年同時期115件）で、過去1位
そのうち男性143件、女性3件で、男性は前回（105件）及び前年同時期（105件）より増加、女性は前回（2件）より増加、前年同時期（10件）より減少
4. HIV感染者とAIDS患者を合わせた新規報告数は440件で、過去1位

【感染経路・年齢等の動向】

1. 新規HIV感染者報告数：
 - 同性間性的接触によるものが216件（全HIV感染者報告数の約73%）
 - 異性間性的接触によるものが48件（全HIV感染者報告数の約16%）
そのうち男性41件、女性7件
 - 母子感染によるものは0件
 - 静注薬物によるものは1件（うち、その他に計上されているものが、1件）
 - 年齢別では、20～30代が多い。
2. 新規AIDS患者報告数：
 - 同性間性的接触によるものが87件（全AIDS患者報告数の約60%）
 - 異性間性的接触によるものが32件（全AIDS患者報告数の約22%）
そのうち男性31件、女性1件
 - 母子感染によるものは0件
 - 静注薬物によるものは1件（うち、その他に計上されているものが、1件）
 - 年齢別では、50歳以上の報告数が58件と前回（30件）及び前年同時期（30件）と比し増加が著しい。

【検査・相談件数の概況（平成25年4月～6月）】

1. 保健所におけるHIV抗体検査件数（速報値）は24,165件（前回報告22,242件、前年同時期26,406件）、自治体が実施する保健所以外の検査件数（速報値）は7,142件（前回報告6,769件、前年同時期7,405件）
2. 保健所等における相談件数（速報値）は32,682件（前回報告33,013件、前年同時期39,393件）

【献血の概況（平成25年1月～6月）】

1. 献血件数（速報値）は、2,611,526件（前年同時期速報値2,628,553件）
 2. そのうちHIV抗体・核酸増幅検査陽性件数（速報値）は37件（前年同時期速報値34件）
- 10万件当たりの陽性件数（速報値）は、1.417件（前年同時期速報値1.293件）

《まとめ》

1. 新規HIV感染者報告数は過去2位、新規AIDS患者報告数は過去1位、HIV感染者とAIDS患者を合わせた新規報告件数は1位であった。特に新規AIDS患者報告例の年齢が上昇傾向にあるが、早期に検査を受け、早期に治療を受けることでAIDSの発症は防ぐことができる。
2. 保健所等におけるHIV抗体検査件数は、前回に比し増加、前年同時期に比し減少していた。また、相談件数は、前回および前年同時期に比し減少していた。HIV抗体検査件数は横ばい傾向、相談件数は減少傾向である。
3. 早期発見は個人においては早期治療、社会においては感染の拡大防止に結びつくので、HIV抗体検査・相談の機会を積極的に利用していただきたい。